

嫌気性菌簡易培養システム

アネロメイト - P

従来、嫌気性菌の培養のための嫌気的環境をつくるためには、様々な機器・機材を必要とし操作が煩雑でしたが、アネロメイト-Pを使用すると、簡単な操作で嫌気性菌を培養することができます。

【特長】

1. 取り扱いが簡単です。
2. 嫌気培養剤を袋に入れるだけで、水も触媒も必要ありません。
3. 細菌の発育状態が外部から観察できます。
4. 緊急時などの少数培養（シャーレ2枚）に最適です。大量培養用としてアネロメイト-J（10枚用ジャータイプ）も用意してあります。

【包装の内容】

- 嫌気培養剤……………50袋
（酸素吸収・炭酸ガス発生剤）
- 嫌気培養袋……………50枚
（ガスバリア性のある特殊ナイロン袋）
- 酸素検知剤……………50個
（培養袋内が嫌気状態になったことを示す嫌気指示薬）
- 密封用バー……………各2組
[培養袋用(180mm)、酸素検知剤用(120mm)]

【使用法】

1. 嫌気培養袋の中に被検材料または被検菌を塗布したシャーレを平面に並べて入れます（丸シャーレは2枚入ります）。
2. 酸素検知剤（錠剤）を、小袋から1個取り出し、外から見えるように培養袋の中に入れます（このとき酸素検知剤の色が酸素に触れるため一時ピンクからブルーになりますが嫌気状態になるとピンクに戻ります。ブルーが消えれば嫌気状態になっています）。
3. 嫌気培養剤をアルミ袋から取り出し、シャーレを入れた培養袋の中に入れます。

4. 培養袋の中の空気を追い出し、密封する部分がしわにならないようにして、密封用バーで破線クリップ位置を完全に密封します。

[3. および4. の操作は手早く短時間(1分以内)に行ってください。]

5. 密封後はただちに培養袋をふらん器に入れて培養します。

【注意】

1. 嫌気培養袋について
 - ・嫌気培養袋はガスバリア性のある特殊ナイロンですので、市販のポリ袋では代用できません。
2. 酸素検知剤について
 - ・酸素検知剤は、熱、光、空気等により悪影響を受けますので、無酸素状態にして必ず冷蔵庫に保管して下さい。
 - ・お手元にアネロメイト-Pが届きましたら酸素検知剤の小袋を箱から取り出し冷蔵庫に入れて下さい。酸素検知剤以外は室温保存が可能です。
 - ・開封後は、小袋の中の空気を追い出し、酸素吸収剤を入れたまま密封用バーにて密封し冷蔵庫で保管して下さい。
 - ・酸素検知剤は、1回限りの使い捨てです。
 - ・酸素検知剤のフィルムの袋には小さな針穴が開いています。この針穴からの酸素の出入りによって色が変化しますので、このままお使い下さい。中の錠剤を取り出したり、大きな穴を開けたりしないで下さい。

【貯法・使用期限】

冷暗所（2～10℃）に保存。
1年間。

【包装】

アネロメイト-P 2枚用 50セット分… Code 06593
アネロメイト-J 10枚用 50セット分… Code 06594

製造販売元

島津ダイアグノスティクス株式会社

東京都台東区上野3-24-6 〒110-0005 TEL 03(5846)5611 (代)

(8A01S)